

## Greater WEST JAPAN連携会議を開催

【ブランディング】

3月6日（金）、西日本の広域連携DMO4団体（関西観光本部、山陰インバウンド機構、せとうち観光推進機構、当機構）による「Greater WEST JAPAN連携会議」を広島県広島市で開催しました。

会議は2部構成で行われ、第1部では、豪州シドニーで共同出展した「Japan Roadshow 2026」および現地旅行会社へのセールスコールについて、参加報告がありました。また、2025年度の活動を振り返り、成果や課題を踏まえたうえで、次年度における連携施策について協議し、シドニーでの「Japan Roadshow 2027」への継続出展など、各DMOの意向を確認しました。さらに、各DMOの直近の取り組みについても情報共有を行いました。

瀬戸内ブランドコーポレーションやJTBグループなども参加した第2部では、せとうち観光推進機構の眞鍋会長による開会挨拶に続き、日本サステナブルツーリズムイニシアティブの田川会長（山陰インバウンド機構 会長）による「サステナブルツーリズムの推進と日本サステナブルツーリズムイニシアティブの活動について」と題した基調講演が行われました。約20年前の観光立国宣言以降の歩みを振り返りながら、これからの観光には環境や地域社会に寄り添う姿勢が不可欠であり、広域連携DMOや地域が協力し、持続可能で心地よい旅の未来を育てていくことの重要性が示されました。

4DMOでは、2030年に予定されているIR（統合型リゾート）開業なども視野に入れつつ、西日本および四国への誘客・周遊促進に向け、引き続き広域連携のもと協力して取り組んでまいります。

開催日時	2026年3月6日（金）
実施場所	ひろぎんホールディングス会議室（広島県広島市）
参加団体	関西観光本部、山陰インバウンド機構、せとうち観光推進機構
機構出席者	桑村本部長、伊藤統括副本部長、神野副本部長



会議の様子（第1部）



会議の様子（第2部）

## サイクルモードライド大阪2026への出展について

【ブランディング】

3月7日（土）、8日（日）の2日間、万博記念公園（大阪府吹田市）で開催された、西日本最大のスポーツサイクルフェスティバル「サイクルモードライド大阪2026」に、四国4県と当機構等で構成する「サイクリングアイランド四国推進協議会」として出展しました。

会場では、「ジテンシャ×旅」をテーマに、四国一周サイクリングチャレンジや四国各県のサイクリングルートのPRや、サイクリングと親和性の高い四国遍路、おすすめ観光スポットの発信を行いました。

また、四国一周サイクリングを達成したサイクリストの方の体験談を聞いたり、チャレンジを検討されている方に直接PRをしたり、多くのサイクリストの方々と交流を図ることができました。引き続き、サイクリングアイランド四国推進協議会の活動を通じて、四国への誘客を図ってまいります。



サイクルモードライド大阪2026の様子

開催日時	2026年3月7日（土）～8日（日）
実施場所	万博記念公園（大阪府吹田市）
機構出席者	伊藤統括副本部長、井上マネジャー、三好マネジャー、流マネジャー

## 2025年度一般社団法人四国ツーリズム創造機構 理事会・臨時社員総会を開催

【ブランディング】

3月24日（火）、当機構の2025年度理事会と臨時社員総会を実施しました。

理事会では、「2025年度事業報告（案）及び決算見込報告（案）」（第1号議案）と「第6次四国観光交流戦略（案）」（第2号議案）、「2026年度事業計画（案）及び収支予算（案）」（第3号議案）、「会員の新規入会（案）」（第4号議案）についてご審議いただき、理事の皆さまからのご承認をいただきました。

また、臨時社員総会では、理事会と同様に、「2025年度事業報告（案）及び決算見込報告（案）」（第1号議案）と「2026年度事業計画（案）及び収支予算（案）」（第2号議案）についてご審議いただき、社員（協賛会員）の皆さまからご承認いただくとともに、「第6次四国観光交流戦略」及び四国経済連合会と四国アライアンスと共同で策定している「四国の観光ビジョン」の改定についてご報告いたしました。

なお、この春の人事異動等により、徳島県の勝川監事、愛媛県の藤原理事、（株）阿波銀行の矢西理事の3名が、3月末をもって理事を退任されることとなりました。皆さまには、長らく当機構の運営にご理解とご協力をいただきましたこと、紙面をお借りしてお礼申し上げます。

2026年度は、「第6次四国観光交流戦略」の初年度となります。4月以降、当機構も新体制となり、四国の広域周遊観光推進に向けて、関係機関との連携を強化しながら、職員一同各事業に取り組んでまいりますので、引き続きどうぞよろしくお願いいたします。

なお、当会議で承認いただきました事項については、6月2日（火）に予定しております理事会、定時社員総会及び全体会議で改めてご報告させていただきます。

開催日時	2026年3月24日（火）
開催場所	かがわ国際会議場（香川県高松市）
機構出席者	半井代表理事、桑村本部長、伊藤統括副本部長ほか11名



理事会の様子



臨時社員総会の様子

## 「四国の観光ビジョン」改定の記者発表を開催

【ブランディング】

3月30日（月）、当機構、四国経済連合会、四国アライアンス（阿波銀行、百十四銀行、伊予銀行、四国銀行）の3団体で2021年3月に策定した「四国の観光ビジョン」を改定し、2026年度から2030年度を対象期間とする新ビジョンについて、記者に発表いたしました。

今回の改定は、認知度や国内観光客の伸び悩み、人手不足等の課題に直面する中、「四国～Shikoku～」ブランドのさらなる認知度向上を図るとともに、地域住民・観光客・地域経済のすべてが潤う「三方よし（住んでよし、訪れてよし、商いもよし）」の実現を目指すものです。

11社12名の記者の皆さまにご出席いただき、各団体の発表者より新ビジョンの主旨や内容をご説明しました。

今後5年間、3団体は本ビジョンに基づき、当機構を「要（かなめ）」として、各県・各エリア・観光関連事業者との連携をこれまで以上に深化させてまいります。

開催日時	2026年3月30日（月） 13:30～14:30
開催場所	かがわ国際会議場（香川県高松市）
発表者	四国経済連合会 長井 啓介 会長 （株）四国銀行 小林 達司 取締役頭取 ※ 四国アライアンス観光振興分科会の幹事行として出席 当 機 構 半井 真司 代表理事



出席者	四国新聞社、高知新聞社、読売新聞社、交通新聞社、観光経済新聞社、香川経済レポート社、日本経済新聞社、日本電気新聞部、日本金融通信社、愛媛新聞社、西日本放送
機構出席者	半井代表理事、桑村本部長、伊藤統括副本部長、神野副本部長ほか3名



記者発表の様子

## 「2026年度 四国地区 ジャルパック国内事業計画説明会・情報交換会」に参加 【マーケティング・国内】

3月5日（木）、香川県琴平町で、2026年度四国地区ジャルパック国内事業計画説明会・情報交換会が開催されました。2026年度においても、引き続きタイムセールを実施していくこと、また訪日事業においてはランオペとしてのDMC事業を強化していくといった説明がありました。

開催日時	2026年3月5日（木）
開催場所	湯元こんぴら温泉華の湯 紅梅亭（香川県琴平町）
機構出席者	桑村本部長



第1部の様子（ジャルパック長谷川取締役）



第2部（ジャルパック平井社長のご挨拶）

## インバウンド対応ガイドと観光事業者の情報交換会に参加

【マーケティング・国内】

3月5日（木）に松山市民会館にて開催された、愛媛県国際観光テーマ地区推進協議会主催「インバウンド対応ガイドと観光事業者の情報交換会」に参加しました。

本イベントでは、愛媛県内を中心としたインバウンド観光の活性化を目的に、「旅行会社・観光事業者」と「通訳案内士・ガイド」の直接的なネットワークを構築するためのプレゼンテーションとマッチングトーク会が行われました。

前半のプレゼンテーションでは、旅行会社・観光団体から自社の事業戦略やガイドに求める条件を提示し、ガイド側からは海外居住経験を活かした語学力や活動意欲など自身の強みをPRし、マッチングを図りました。

また、後半のマッチングトーク会では、ローテーション形式で事業者とガイドが直接対話し、ガイドの仕事機会の創出に繋げるべく情報交換を行いました。

当機構としても引き続き、アドベンチャートラベルを通じて四国で魅力的な旅を提供できるガイド育成事業の推進に、より一層取り組んでまいります。

開催日時	2026年3月5日（木） 13:30～16:30
開催場所	松山市民会館 3階 小ホール （愛媛県松山市）
参加者	ガイド 計11名、旅行会社 計7社
機構出席者	長山マネジャー



情報交換会の様子

## 「2025年度 JNTOマーケット研究会」を開催

【マーケティング・海外】

3月13日（金）、四国運輸局と当機構が主催し、「JNTOマーケット研究会」を開催いたしました。

本研究会はインバウンドの地方誘客を目的として、日本政府観光局（JNTO）の海外事務所長に海外市場における訪日旅行者の動向などをご講演いただいています。

今回は、四国各県の自治体・DMOへ実施したアンケート結果に基づき、観光庁およびJNTOとの調整を経て、ソウル事務所による講演が実現しました。韓国は訪日客数が最も多い市場であり、四国への直行便も多数就航していることから、参加者からは非常に高い関心が寄せられました。

第1部では、清水雄一JNTOソウル事務所長より、訪日韓国人の最新トレンドや四国への関心分析、訪日韓国人に多く見られるゴルフ需要などについてご講演いただきました。第2部の個別相談会（事前申込制）では、四国内の自治体・DMO、民間事業者計10団体が参加し、韓国市場からの誘客に向けた商談会やプロモーション、受入環境整備といった課題について、活発な意見交換が行われました。

当機構では、今後も四国の観光関係者の皆様へ有益なインバウンド情報を提供できるよう、JNTO等との連携を深めてまいります。

次ページに続く

開催日時	2026年3月13日（金）14:00～16:10（日本時間）
開催形式	Zoomによるオンライン開催
プログラム／参加者	第1部 講演：「韓国人旅行者の最新動向」／57名 第2部 個別相談／10団体
機構出席者	伊藤統括副本部長、竹内チームマネジャー、長山マネジャー、三好マネジャー



講演資料



第1部 講演の様子

「令和7年度 四国におけるインバウンドレンタカー利用に関する調査事業 報告会」に出席 【その他】

3月3日（火）、「四国におけるインバウンドレンタカー利用に関する調査事業報告会」がサンポートホール高松にて開催されました。

本事業は、四国を訪れるインバウンドのレンタカー利用実態や、受け入れ側である事業者の現状・課題を明確にすることを目的として実施されたものです。報告会では、アンケート結果に基づき、訪日客の移動経路や利用満足度、事業者が直面する言語対応や交通ルールの周知といった現場の課題に加え、今後の施策立案に向けた具体的案が提示されました。また、関連施策として中国運輸局からも調査結果が報告され、広域的な視点からインバウンドの二次交通対策を再考する有益な機会となりました。

当機構では、本報告会で得られた知見をもとに、レンタカーを活用した四国周遊を促進してまいります。

開催日時	2026年3月3日（火）14:00～15:20
実施場所	サンポートホール高松（香川県高松市）
出席者	四国運輸局、中国運輸局、自治体、観光関係団体、レンタカー事業者 ほか
機構出席者	桑村本部長、清水CMO



報告会の様子

## 「第16回せとうちミーティング」を開催

【その他】

3月13日（金）、広島国際会議場にて第16回せとうちミーティングが開催されました。

せとうち観光推進機構におかれましては、当機構を含む3広域連携DMOと連携協定を締結しており、せとうち域内外の皆様との交流拡大・観光機運の醸成や情報提供を目的に「せとうちミーティング」と題するビジネスカンファレンスを、2017年より継続して開催しています。

第16回目となる交流会が広島で開催され、今回は昨年話題となった新書「観光"未"立国 ニッポンの現状」を上梓され、民間企業や行政における事業プロデュース・PRコンサルタントとして幅広く活躍中の永谷 亜矢子氏の基調講演がありました。また、第2部では今年度最も魅力的だった観光事業者様を表彰する「せとうちDMOアワード」の受賞発表、第3部では、来場者同士の交流を目的とした名刺交換・ビジネス交流会が実施されました。

開催日時	2026年3月13日（金）
開催場所	広島国際会議場（広島県広島市）
機構出席者	桑村本部長



第16回せとうちミーティングの様子

## 土佐清水市観光びらき2026に参加

【その他】

3月15日（日）、今年の高知県西部の幡多エリアへの観光客拡大を祈って開催された「土佐清水市観光びらき2026」に参加しました。

幡多エリアの市町村代表者や関係者などが出席され、あしずり太鼓によるオープニングの後、関係者が挨拶し、鏡開きが行われました。

次ページに続く

開催日時	2026年3月15日（日）
開催場所	竜串ビジターセンター（高知県土佐清水市）
機構出席者	長山マネジャー



関係者による鏡開きの様子

## 観光庁「地域周遊・長期滞在促進のための専門家派遣事業」MeetUp 2025に参加 【その他】

3月16日（月）、観光庁「地域周遊・長期滞在促進のための専門家派遣事業」MeetUp2025が東武トップツアーズ品川オフィスで開催されました。

本イベントは、観光庁登録専門家や行政・DMO職員が一堂に会し、地域課題の解決策を模索することを目的に、有志の実行委員会により企画されました。冒頭、委員長の山田桂一郎氏が「プロとしての情報交換の場としてほしい」と挨拶があり、続くトークセッションでは、「専門家とこれからの観光の話をしよう」と題し、4つのテーマで議論が行われました。日本観光振興協会の大須賀氏は「専門家の品質担保」について、秩父地域おもてなし観光公社の井上氏は「行政と民間の思考の乖離とその通訳機能」の重要性を強調しておりました。また、かまいしDMCの河東氏は「補助金の活用」を、リージョナルリングの丸野氏は「目的を明確にしたデータ利活用」を提言しました。終盤には、雪国観光圏の井口氏から「地域側の要件定義力の欠如」などの指摘もあり、双方向での活発なディスカッションが展開されました。

当機構としては同専門家に登録されている清水CMOが参加してまいりました。こうした専門家ネットワークとの連携を深め、四国における持続可能な観光地づくりの一助としてまいります。



詳細は[こちら（観光経済新聞社）](#)をご覧ください。

開催日時	2026年3月16日（月） 16:00～20:00
開催場所	東武トップツアーズ 品川オフィス 19階 Innovation Oasis（東京都港区）
登壇者	山田桂一郎氏、大須賀信氏、井上正幸氏、河東英宜氏、丸野敬氏
参加者	観光庁登録専門家、行政・DMO・観光協会職員ら 約65名登壇者
機構出席者	清水CMO

## 今月のオウンドメディア等

(清水CMOからの情報)

4月から新年度が始まり、会員の皆さまにおかれましても、初めて観光関連の業務に就かれた方もいらっしゃるかと思います。そこで今月は、今後ますますの増加が期待されるインバウンドを中心に、役に立つ「情報」、「データ」、「ツール」などを紹介させていただきます。タイトルをクリックまたは二次元コードを読み取っていただくことで対象ページに遷移しますので、ご参考にしていただければ幸いです。

### 【計画・予算など】

#### ① [観光立国推進基本計画（観光庁 期間：2026年度～2030年度）](#)

「観光の持続的な発展」、「消費額拡大」、「地方誘客促進」、「観光と交通・まちづくりとの連携強化」、「新技術の活用・本格展開」を施策の方向性。「住んでよし」「訪れてよし」に加え、「働いてよし」の観光産業の実現を推進しています。



#### ② [令和8年度観光庁関係予算決定概要及び令和7年度補正予算（観光庁 期間：2025年度）](#)

「インバウンドの受入れと住民生活の質の確保との両立」、「地方誘客の推進による需要分散」、「観光産業の活性化」などを重点的に観光予算が確保されています。



#### ③ [JNTO訪日マーケティング戦略（JNTO 期間：2023年度～2025年度）](#)

前回の観光立国推進基本計画を踏まえ、持続可能な観光・消費額拡大・地方誘客促進の実現に向け、プロモーション戦略を策定。2026年度改定予定。



#### ④ [第6次四国観光交流戦略（四国ツーリズム創造機構 期間：2026年度～2030年度）](#)

観光立国推進基本計画も加味した当機構の中期計画になります。

6月の全体会議にて正式に発表させていただきます。

[ご参考：第5次をご確認ください。（期間：2021年度～2025年度）](#)



### 【統計データなど】

#### ⑤ [訪日外客統計（JNTO）](#)

“訪日外客数”が確認できます。ニュースなどで「20××年1～12月のインバウンド旅行者数は〇〇人」と報道されますが、こちらの統計から引用されているものです。基本的に全国計の数値ですが、都道府県訪問率も算出されているため、都道府県ごとの推計も可能です。



#### ⑥ [宿泊旅行統計調査（観光庁）](#)

※機構DMPで一部可視化

日本で“宿泊する日本人や外国人の数”を、都道府県単位、四国単位で確認できます。

上記観光立国推進基本計画においても「訪日外国人旅行者一人あたりの地方部宿泊数を令和元年実績の1.4泊から令和7年までに2泊」とすることが掲げられているなど、重要な調査です。



#### ⑦ [インバウンド消費動向調査（旧 訪日外国人消費動向調査）（観光庁）](#)

※機構DMPで一部可視化

訪日外国人が旅行時に“いくら消費しているか”を国別と都道府県単位で確認できます。



#### ⑧ [旅行・観光消費動向調査（観光庁）](#)

※機構DMPで一部可視化

日本人が旅行時に“いくら消費しているか”を都道府県単位で確認できます。



今月のオウンドメディア等

(清水CMOからの情報)

【観光地域づくり法人 (DMO) 関連資料】

⑨ [観光地域づくり法人 \(DMO\) による観光地域マーケティングガイドブック \(観光庁\)](#)

DMO (※) に求められていることを大きく「観光地経営」、「マーケティング」、「自主財源」をテーマにガイドブックとしてまとめられています。

※観光地域づくり法人 (DMO) とは、地域の「稼ぐ力」向上と誇り醸成を目指す地域経営の司令塔として、多様な関係者と協同し、明確な戦略策定と実行調整により観光地域づくりを実現する法人です。



⑩ [登録観光地域づくり法人「登録DMO」の形成・確立計画 \(観光庁\)](#)

四国内だけでなく、全国のDMOに関する基礎的なマーケティング情報が確認できます。



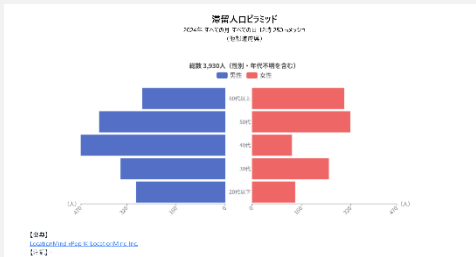
【データ可視化ツール】

A. [RESAS「地域経済分析システム」 \(内閣府\)](#)

2025年度大きく刷新。個人的に無料ツールとして昨年一番記憶に残っているツールとなります。スマートフォンでも閲覧できます。RESAS→観光マップ内→観光地分析が、とても有益です。

「観光地」と「事業所」と「滞在者 (日本人)」が150~250メートルのメッシュ内に、日時別 (2024年データのみ) ・性別・居住地別の切り口で可視化できます。

例えば、『2024年4月の休日に、他都道府県から来た滞在者が700人程度と他のメッシュに比べて多い観光地だが、近くにみやげ物屋がない』などの現状把握が可能になります。



RESASイメージ

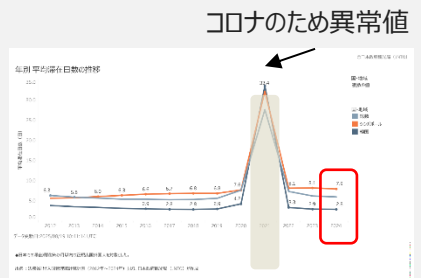


B. [日本の観光統計データ \(「JNTO」\)](#)

各種データをJNTOで集約したDMPです。

各国のマーケティングデータが簡単に可視化できます。

右記は、全体・韓国・シンガポールの年別平均滞在日数の推移となります。



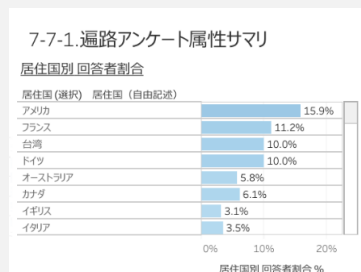
日本の観光統計データイメージ

C. [四国の観光データ \(当機構DMP\) \(※\)](#)

四国内の観光情報を可視化しています。先にご紹介した各種調査についても、DMP (データ・マネジメント・プラットフォーム) による可視化でデータ感覚として掴むことができます。

※当機構DMPは当機構の会員さまは無料でご利用いただけます。

なお、ご利用の際の「ユーザー名」及び「パスワード」は、既にご案内しているものをご利用ください。ご不明の場合は、別途お問合せください。



日本の観光統計データイメージ

今年度も四国誘客に必要な情報を発信してまいります。よろしくお願いいたします。

## 当機構のメンバー3名が帰任しました

ブランディングチーム（国内誘客）の井上郷平です。4月より、出向元の株式会社阿波銀行に帰任することとなりました。

在任中は「持続可能な観光」の推進をはじめ、データ・マネジメント・プラットフォーム（DMP）の活用推進、四国アライアンスや四経連等の他団体との連携など、四国の観光振興に資する幅広い事業に携わらせていただきました。これらの事業遂行を通じ、四国各地の様々な団体様と連携を深めることができましたことは、私の今後の人生においても大きな財産となりました。至らぬ点多々ございましたが、皆様の多大なるご支援により大過なく職務を全うできましたこと、厚く御礼申し上げます。

帰任後は、銀行のシンクタンクである公益財団法人徳島経済研究所へ配属となります。機構で得た知見とネットワークを最大限に活かし、観光を含めた徳島県の地域活性化、ひいては四国地域全体の発展に貢献できるよう尽力してまいります。

なお、後任には株式会社百十四銀行より多田マネジャーが着任いたします。私同様、変わらぬご指導・ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。2年間、誠にありがとうございました。



マネジャー 井上郷平

マーケティングチーム（国内誘客）の別宮直起です。この度、4月1日付の人事異動で出向元のJR四国へ帰任することとなりました。

機構には国内誘客を担当として、2年半在籍し、JR周遊促進事業や四国観光商談会、県外事務所等と連携した情報発信事業など、多くの事業に携わらせていただきました。至らぬ点多々あったかと存じますが、皆さまには大変お世話になりました。感謝申し上げます。

JR四国へ帰任後は、営業部商品企画課に配属となります。機構での経験を活かし、四国への送客に繋げてられるよう努めてまいります。

なお、JR四国の後任には、新たに寒原マネジャーが着任いたしますので、変わらぬご指導・ご鞭撻をよろしくお願いいたします。改めまして2年半、大変お世話になりました。ありがとうございました。



マネジャー 別宮直起

マーケティングチーム（国内誘客）の流諒磨です。この度、4月1日付で徳島県教育委員会の教職員課へ異動することとなりました。

機構での1年間は、「しこくり」の推進をはじめ、ツーリズムEXPOジャパン、サイクルモードライド大阪、大阪・関西万博、京都での観光・物産展など、多くの事業に携わらせていただきました。各地のイベントで来場者が四国に対してどのような関心を持っているかを直接確認できたことは、一つの知見となりました。

4月からは教育行政の分野に移りますが、機構での経験を糧に励んでまいります。なお、後任には岸本マネジャーが着任します。1年間、本当にありがとうございました。



マネジャー 流諒磨

4月からの新メンバーを紹介します



マネジャー 多田圭吾

百十四銀行から出向してまいりました多田と申します。これまでの業務経験を活かしなが  
ら、四国の魅力発信および観光振興に貢献してまいりたいと考えております。  
四国の持つ豊かな自然や文化、地域資源の価値を広く伝え、誘客促進を通じて地  
域の活性化に寄与できるよう努めてまいりますので、どうぞよろしくお願いいたします。



マネジャー 岸本章吾

徳島県から出向してまいりました岸本と申します。マーケティングチームとして、「しこくり」  
やツーリズムEXPOジャパン等を担当します。多くの方に四  
国を訪れていただけるよう取り  
組んでまいりますので、どうぞよ  
ろしくお願いいたします。



マネジャー 寒原光里

JR四国から出向してまいりました寒原と申します。この度、国内誘  
客を担当することとなりました。四  
国が持つ多彩な魅力を発信し、  
国内外のお客様に訪れたいと思っ  
ていただけるような地域づくりや四  
国への誘客促進に貢献できるよう  
努めてまいります。どうぞよろしくお  
願いいたします。

代表理事の主な動性

- 3月16日(月) 定例会議・推進会議 (当機構の会議)
- 24日(火) 理事会・臨時社員総会
- 30日(月) 「四国の観光ビジョン」改定の記者発表

(一社) 四国ツーリズム創造機構  
事業推進本部 マーケティングチーム  
岸本、松本

TEL : 087-813-0434  
FAX : 087-813-0312



SHIKOKUTOURISM

後援・協賛等

事業名	主催	期間	備考(公式サイト等)
第18作 「新 鶴姫伝説～鎧に白い花を～」	坊っちゃん劇場	2025年4月29日(火) ～2027年3月 予定	<a href="https://www.botchan.co.jp/production.html">https://www.botchan.co.jp/production.html</a>

4月以降の主な予定表

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月
マーケ ティング (国内)	JAL麗らか四国キャンペーン(4月～10月)					
マーケ ティング (国際)	欧米豪調査等報告会 ● (5月14日/高松市)		台湾商談会 ● (7月14日/台湾)		ツーリズムEXPO ● (9月24日～27日/東京)	VJTM ● (9月24日～26日/東京)
ブラン ディング	● 丸亀市記者発表 (4月8日/高松市)		● 理事会・社員総会・全体会議 (6月2日/高松市) ※9日記者発表			